

「尖閣諸島開拓の日」 式典挨拶

本日、この尊い日にお招きいただき、深く感謝の意を表します。尖閣諸島の歴史と、その勇敢な開拓者たちの精神を讃える今日は、我々日本人にとって非常に特別な意味を持つ日であります。

長い歴史を通じて、尖閣諸島は我が国の領土として存在してきました。過去の文獻にその名が見られることから、これらの島々が日本の歴史と文化に深く根ざしていることは明らかであり、我々は、この長い歴史に基づき、尖閣諸島に対する中国からの不当な領土要求に、断固として反対いたします。

これらの主張や行動は、国際法に基づいた日本国の正当な権利を侵害するものであり、依然として受け入れることはできません。国際社会においても尖閣諸島の主権に関する立場を明確にし続けること、そして日本国民が一丸となりこの問題に目を向け、そして行動していかなくてはなりません。

しかし、「尖閣諸島に関する世論調査」を見ると、関心度は微増ながらも、若い世代の関心は僅かではありますが減少傾向にあります。

このことから、「尖閣諸島は歴史的、法的に日本固有の領土でありながらも、中国からの不当な領土要求が行われている」、この外交問題を次世代に伝え、彼らの理解を深めることもまた重要な取り組みであると考えます。

次世代に尖閣諸島の実態を理解してもらうための政治的アプローチを発信することで、尖閣諸島の歴史的背景や現在の状況についての知識を提供することが重要であり、こうした取り組みは、次の世代に国際情勢と尖閣諸島の理解を繋げる上で重要な役割を果たします。

そのためにも、私たちみんなでつくる党でも、小さいながらも若い党としての力を存分に発揮し、皆様と足並みを揃え、同じ未来に向かって歩んでいくことをお約束します。

尖閣諸島の未来が平和と繁栄に満ちたものであること、そして本日ご参列の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

二〇二四年一月十四日

みんなでつくる党 党首 大津綾香